

2025 年 4 月 1 日

(株)IHI 回 転 機 械 SBU 長
(株)IHI回転機械エンジニアリング社長
森川 圭一

2025年度 回転機械 SBU 安全衛生・健康管理(ウェルビーイング推進)重点方針・施策

2025年度IHIグループ安全衛生・健康管理重点方針に基づき、回転機械 SBU 安全衛生方針の実現に向けて、リスクアセスメント、リスク対応の強化を通じて、事故や災害の発生を未然に防ぐためにIHIグループの『安全五原則』に立ち戻り、安全五原則のそれぞれの項目に対して取り組み「災害ゼロ」を目指す。

【安全衛生方針】

- ・全ての職場で「安全五原則」を実践し、安全を最優先とする行動の徹底を図ることにより安心して働くことができる職場を実現する。
- ・トップダウンによる安全システムの運用と、働く人、一人ひとりの安全衛生意識および感受性の向上を図る。
- ・各種作業工程に存在する危険源の持つエネルギーの大小に着目したリスクアセスメントの強化に取り組み、労働災害を撲滅する。
- ・安全衛生に関する法律、規程、ルールを守り、守らせる。
- ・健康経営の考え方にに基づき、心身ともに健康で生き活きと働くことのできる職場の実現を目指す。

【管理目標】

- ・安全衛生管理:全災害「ゼロ」 全災害度数率 1.00 未満 必達
- ・健康管理(ウェルビーイング推進)
:エンゲージメントサーベイ「活躍社員」 28 → 30 +2 ポイント

※上記は IRM の管理目標を示す。関係会社は個社で設定のこと。

1. 安全衛生管理重点課題・施策

(1)安全はすべてに優先する

① リスクアセスメント強化活動の実施

各種作業における危険源が持つエネルギーの大小に着目したリスクアセスメントをおこないリスクの洗い出しと評価を実施する

(2)危険な作業はしない、させない

① 着工前会議での施工体制の確認

着工前会議での事前確認を充実させることにより、適正な施工体制を確保し、混在や偽装請負状態による作業リスクの排除を図る

② 各種パトロールでの作業者との対話および声掛けの実施

パトロールで作業員に対する声掛け活動を通じて「自立・相互啓発型」組織に向けた安全衛生に関する意識向上を図る

③ 熱中症対策の実施

熱中症防止対策および熱中症の自覚症状やそのおそれがある人を見つけた場合、適切な対応の実施し、熱中症の重篤化を防ぐ

(3) 災害要因の先取り

- ① グループ安全基本原則に該当する災害の撲滅
作業前にグループ安全基本原則に該当する危険源を確認し、安全対策を共有する
特に経験年数が浅い未熟練作業員に対するフォローに注力し災害撲滅を図る
- ② 回転機械 SBU の過去災害に基づく再発防止資料の作成と展開・周知
回転機械 SBU の過去災害の再発防止対策資料を通じて再発防止の徹底を図る
- ③ ヒヤリハット情報収集およびワンポイントレッスンによる危険意識の向上
各部門から提出されたヒヤリハット情報を基にしたワンポイントレッスンを通じてグループ安全基本原則に対する危険意識の向上を図る

(4) ルールを守る

- ① 安全ハンドブックの見直し
安全ハンドブックを見直し、最新のルールを周知することにより労働災害を防止する
- ② 法改正に関する情報共有と対応
安全衛生に関する法改正の最新情報を共有し、対応することにより労働災害を防止する

(5) 自ら努力する

- ① VR 教育による危険感受性の向上
VR 教育を体験することにより危険感受性の向上を図る
- ② 協力会社向け安全教育の開催
協力会社の作業員個人に対し、安全衛生教育を通じて安全意識を向上させる
- ③ 協力会社との安全協議会の充実
安全協議会を通じて協力会社の幹部に対して安全管理体制強化を働きかける

(6) 交通事故の撲滅【IRM 独自】

- ① 社用車の運行管理の徹底
- ② 安全運転に関する啓発活動

2. 健康管理(ウェルビーイング推進)重点方針

“イキイキと働く！”

「一人ひとりの活力向上」と「働く喜び(成長実感)が得られる職場」へ

(1) オフェンス(攻め)の施策

- ・一人ひとりの活力向上につながる習慣づくりの推進(特に運動支援)
- ・働く喜び(成長実感)が得られる職場づくり(従業員意識調査・健康度調査等の利用)

(2) ディフェンス(守り)の施策

環境変化に伴う心身の不調に速やかに対応できる体制の整備

- ・管理監督者が学び合う機会の設定
- ・IHI-G 対応ガイドラインの社内浸透(「再適応支援の手引き」の活用推進)

以上